

警 察 署 協 議 会 会 議 録

小倉北警察署協議会

開催年月日時	令和2年2月19日 午後4時00分 から 令和2年2月19日 午後5時00分 まで	
開催場所	北九州市警察部 10階会議室	
出席者	警察署協議会	会長以下11名
	警察署	署長、副署長、会計管理官、生活安全管理官、地域管理官、刑事管理官、組織犯罪対策管理官、交通管理官、警備管理官、総務第一課長、生活安全課長、地域第三課長、刑事第一課長、組織犯罪対策第一課長、交通第一課長、警備第二課長、事務局
議 事 概 要		
<p><b>【会長挨拶】</b></p> <p>先日北九州マラソンが行われ、もともと小倉北区に勤務し、今は東京等に転勤している私の知り合いが、北九州が大好きだということでエントリーしていた。しかし、彼らも最初に北九州に転勤の辞令が出た時には、ものすごく不安で大丈夫だろうかと思ったという話をよく聞いていた。ただ、「今はもう安全安心な街になったね。」という声をたくさん聞く度に私も嬉しく思っている。そして、まさに昨日工藤会館の完全撤去が終了し、本日、引き渡しとニュースで見た。とても嬉しいことだと思っている。本日お集まりの警察幹部の方、委員の皆様方もこの春に異動になる方もいらっしゃるかと思う。このメンバーでの会議も今日が最後となるかもしれないので是非たくさん意見交換をお願いします。</p> <p><b>【署長挨拶】</b></p> <p>本日は、お忙しい中御出席いただき、厚くお礼申し上げます。また、平素からいろいろな場面で御支援いただき重ねてお礼申し上げます。管内の治安情勢は、刑法犯認知件数が前年と比較して減少し、交通事故に関しても、事故の発生、死者数ともに減少している。しかしながら、昨年末には神岳での殺人事件、年始には黒原での一般住宅に対するけん銃発砲事件があり、治安課題が山積みしており予断を許さない状況にある。今年も署員一丸となって犯罪の抑止、事件検挙に努めて参るので皆様の御支援、御協力をお願い申し上げます。</p> <p><b>【警察署協議会会長連絡会議の結果報告について】（会長）</b></p> <p>1 第一部</p> <p>(1) 公安委員会委員長挨拶</p> <p>(2) 警察本部長挨拶</p>		

## 議 事 概 要

### (3) 警察本部からの報告

- 令和元年中の治安概況及び令和2年福岡県警察運営指針等について（警務部長）
- 事業者の特性をいかした防犯活動の推進について（生活安全部長）

### 2 第二部

#### (1) 南警察署協議会の活動報告（南警察署協議会会長）

- 警察署と連携した各種活動に対する取組

#### (2) 若松警察署協議会の活動報告（若松警察署協議会会長）

- 協議会の開催要領、委員の構成、活動について
- 質疑応答

小倉北警察署の外国人委員の活動状況について質問があり、「先日、小倉駅前交番を視察した時に、日本の交番のシステムがすばらしいということで様々な質問があった。管内では外国人が関わる事件が発生しているので、これから外国人の方の意見や視点をいかしていきたい。」旨を回答した。

#### (3) 嘉麻警察署協議会の活動報告（嘉麻警察署協議会委員）

- 交通安全対策に関する取組について

### 【報告事項】（副署長、各管理官）

令和2年小倉北警察署運営指針について

工藤會の壊滅と「安全で安心なまち小倉北区」の実現

#### 1 小倉北警察署三大重点目標

- 工藤會の壊滅
- 飲酒運転の撲滅
- 性犯罪の根絶

#### 2 小倉北警察署重点目標

- ニセ電話詐欺の予防・検挙
- 重要凶悪事件の徹底検挙
- サイバー犯罪等身近な犯罪の予防・検挙
- 子供の安全を守るための対策の強化
- 高齢者等の交通事故の抑止
- テロの未然防止と災害対策の強化
- 厳正な規律の保持と現場執行力の強化

### 【質疑応答】

- 委員から「最近ニュースで取り上げられている覚醒剤や大麻の事件では再犯者が多いが、性犯罪も再犯者が多いのではないか。再犯率はどの程度あるのか。」旨の質疑があり、組織犯罪対策管理官から「手元に数値はないが、昨年覚醒剤で検挙した者のうちほとんどが再犯だった。」旨の回答があった。

また、生活安全管理官から「性犯罪の再犯率も出していないが、強制わいせつ等で検挙した者が前に同様の性的な犯罪をしていることが多い。覚醒剤等とはまた違い、性癖でなかなか変わらないところがある。」旨の回答があった。

さらに、署長から「昨年性犯罪で検挙した者の中で、一人で複数回事件を起こしている者もあり、再犯率は高い。」旨の回答があった。

## 議 事 概 要

- 委員から「ワークライフバランスの推進について、警察官は昼夜問わず休みでも呼び出しがあるとすぐ行かなければならないというイメージだったので、休暇の取得推進は非常にいい取組だと思う。」旨の意見があった。
- 委員から「覚醒剤をした人たちが入って立ち直る病院のような施設が小倉北区内にあるのか、また、性犯罪の矯正プログラムの受講等の教育があるのか。」旨の質疑があり、生活安全課長から「刑務所から薬物常習者が出所してきた際に入る施設で、施設職員がおり、共同で生活しながら日常生活に戻っていく施設が市内にある。施設によっては専門の病院と繋がっており重篤な人については病院が介入していると聞いている。」旨の回答があった。

また、生活安全管理官から「矯正プログラムについては、保護観察等になった場合に、数回のプログラムを受ける教育がある。」旨の回答があった。

組織犯罪対策管理官から「薬物の怖さは、自分の意思とは関係なく身体が欲してしまうという点である。是非その点を広く啓発していきたい。」旨の回答があった。
- 外国人の委員から「通常留置施設等を外国人が実際に見ることはほとんどない。日産のゴーン氏が逃亡した事件があったが、この時に日本の留置施設はひどい、日本が安全なのは人権がないからだ、と外国で噂になっていた。しかし、私は実際にこの会議に来て意見を聞き、実際に施設を見て噂が全く違うということがわかり、それを外国人の友達に話すことができる。」旨の意見があった。

この意見に対し、会長から「会議で自分が聞いたことを、外国人であれ日本人であれ、市民の人たちに伝えるということが我々委員の役目だと思う。警察と一般市民の橋渡しをすることが私たちの役割なのですばらしい活動だ。」旨の意見があった。

### 【閉会】

以上で本日の協議会を終了する。

